

ボランティア・市民活動情報誌

COMVO

コンボ communication voluntary

2021
8・9 月号
合併号
vol. 259

特集

豊かなまちづくりのために、
いま、ボランティア・市民活動を考える！

Theme.3

“生活文化”としてのボランティアを
地域に根ざしていくために

7 8 “誰もが生きやすい社会”の大切さを
ユニークなモノづくりで発信
発達障がいサポート オフィス アンバランス

13 それゆけ！がんばれ！
学生ボランティア活動 連載リレーコラム



Theme. 3

“生活文化”としてのボランティアを 地域に根ざしていくために

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、座談会はオンラインで行いました。

今日、ボランティア・市民活動は、福祉分野を中心に、教育・文化・環境保全、災害支援、地域安全、まちづくり、人権擁護、国際協力など多様な分野に広がりを見せています。

大阪市内24区にもボランティア・市民活動センターが設置され、それぞれの地域で様々な活動が展開されています。

今年度は毎号、座談会の様子から各区ボランティア・市民活動センターの活動や担当者の想いをお届けします。

今号では東成区ボランティア・市民活動センター・松原朱里さん、浪速区ボランティア・市民活動センター・三木香澄さん、平野区ボランティア・市民活動センター・榎本まなみさんと菱井京子さん、大阪市ボランティア・市民活動センター・上野谷加代子所長との座談会から、各区で取組まれている活動を紹介します。

トークセッション ボランティア・市民活動センターの仕事



豊かなまちづくりのために、いま、
ボランティア・市民活動を考える

地域の特性に向き合った 三者三様の取組み

上野谷 大阪市ボランティア・市民活動センター所長の上野谷です。

皆さん、各区の特長や、強み・弱みを踏まえたうえで、ボランティアコーディネーターとして本当に頑張っておられますね。

今日は、大変な中で工夫をしたことや、考えて工夫してもなかなか浸透しない、などの悩みを話してもらいながら一緒に考えていきましょう。



共に課題を考えながら進行する上野谷所長



東成区社会福祉協議会石川事務局長(右)とコーディネーターの松原さん

松原 東成区では、区内にあるサロンやこども食堂で協働し、それぞれの場所や活動を掲載した『サロンマップ』を作成しました。コロナ禍で活動できていない団体もありますが、活動再開のきっかけとして、消毒液・体温計・マスクなどを揃えた『サロンReスタートセット』を各

団体に配布しています。

また、コロナ禍で、パフォーマンスグループがどうしても活動できない状況があるので、バルーンアートを作っているグループが作った作品をセンターに来たこどもに渡したり、手芸のグループにマスク製作の依頼をしたり、各グループで出来ることを提案して活動しています。

三木 浪速区は「活動者のつながりを絶やさない」をテーマに、コロナ禍のボランティア活動を支援してきました。

思うように活動ができない中で、ボランティアの皆さんからモチベーションが下がる〴〵気持ち

む〴〵という声が多くあったので、ボランティアセンターに来ていただき、メンバー同士で話し合う機会を提案したり、マスク作り講習会を行ったりしました。

また、ボランティアの代表者会議を開催し、各グループの情報交換を行った際に、コロナ禍の状況を共有する中で、疫病退散の思いを込めてみんなで折り紙のアマビエを折ろう〴〵というアイデアが出ました。そして昨年12月に、多くの人に参加してもらい、感染症対策をしながら『なにわアマビエ大作戦』という活動を実施しました。みんなで大きなアマビエの木を作り、浪速区コロナワクチン接種会場にボランティアのメッセージと



区内のサロン情報を見やすく紹介(東成区)

ともに設置しています。



ボランティアグループの想いが集結した「アマビエの木」(浪速区)

榎本 平野区では、コロナ禍でもボランティアについて話し合っていただけの機会をつくりたいと思い、登録グループにご協力いただき、昨年1年をかけてボランティアガイドブックを作成しました。

また、区内の大学からの依頼で、学生向けにボランティア・市民活動センターとボランティアグループの活動を紹介した映像を授業で使ってもらった結果、学生から〴〵こんなボランティアがあることが知れた〴〵や、困った時に相談できる場所が見つかった〴〵という声をいただきました。いろいろな人にボランティア活動を知ってもらえる良いきっかけになったと思っています。

菱井 平野区のボランティア・市民活動センターでは、個人ボランティアの登録も多いのですが、これまで、情報や意見を交換する「場」がなかったもので、近日、交流会を開催する予定です。そのご案内をしたところ、こういう機会を待っていたと多くの方に喜んでもらっています。



ガイドブックでボランティア活動を広く周知(平野区)

上野谷 ボランティア活動というのは生活文化です。その文化を地域に根付かせたい。皆さんはコーディネーターとして、地域の中で自然と助け合ったり、困った人に手を差し伸べることができると社会を創ろうと努力してくれていますね。

では、ボランティア・市民活動センターとして、個別の生活者ニーズ

にどれだけ応えることができるのか。生活支援に対する活動方針や向き合い方について、皆さんの意見を聞かせていただけますか。



平野区社会福祉協議会 宇都宮事務局長代理(左)とコーディネーターの榊本さん(中央)、菱井さん(右)

生活者の個別ニーズに応える コーディネーターであるために

三木 浪速区では、これまでは個人ボランティアからグループ化するケースが多かったのですが、最近では、団体でこんな活動がしたいと相談に来られることが多いです。なので、個人・グループにこだわらず、同じ想いのある人を積極的につなげていきたいと思っています。

しかし、個別の生活支援ニーズに対しては、どのように手を差し伸べ

ればいいのか、どこまでボランティア活動として関わっていきばいいのか、とても難しく感じています。

菱井 昨年は、コロナ禍の影響だと思うのですが、個人ニーズが非常に増えました。例えば、視覚障がいのある人からの話し相手になってほしいや、車椅子が必要な人からの外出を助けてほしいなどの依頼です。

障がいのある人の通学支援や車椅子介助などの依頼は、最後までつなぎきれないことがあり悩んでいます。これまで、通院介助などの生活支援をしていたボランティアグループが、高齢になって解散したこともあり、マッチングする機会も



浪速区社会福祉協議会弥十郎事務局長代理(左)とコーディネーターの三木さん

減っています。

上野谷 ボランティア活動というのは、個人の想いから始まって、同じ想いの人たちが集うようになります。コーディネーターは、個別の想いをキャッチして、同じ想いを持つ人同士をつなげたいと考える。

どんなことでもそうですが、一人で活動をするということは、よほど強い想いと手法を知っていなければ大変なことです。他者と一緒に活動することも、また別の意味で不安があるものです。だから、まずは交流の場を設けて、活動を一緒にできる部分を考えないとね。

また、コーディネーターという専門職として、いかにボランティアをした人、してほしい人の願いを拾いあげ、つなげることができるか。これは潜在化している場合があるから難しいですね。

松原 通院の同行、買物のサポート、部屋の簡単な掃除など、東成区は独自で有償活動による助け合いも行っています。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言下などでは活動を控えることもあります。通院の同行など生活支援の活動は必要なので、活動をする人もサービスを受ける人も、お互いに感染対策を

取りながら行っています。

この有償活動は今年で7年目になります。活動が浸透してきたのか、問合せも多いです。最近ではケアマネジャーからも相談があります。資格を持っている人が関わる必要がある場合などについては専門職につなぐ対応をしています。

上野谷 ボランティアコーディネーター

ネーター、あるいは社会福祉協議会職員というのは、当事者の人生の一部を背負うという決断が必要なものもあります。でも、その覚悟を持って出来ないことの方が多い。例えば100の要請があったら、できることは5%くらいです。しかし、この5%に一生懸命に関われば、いろいろな人や団体、機関が残りの95%を助けてくれます。

社会福祉協議会として、人の暮らし、人生をどう捉えて、どう支えることを意識していくか。ボランティア・市民活動センターが、そこで行うことが可能かどうかは別の次元ですが、私たちはそんな仕事をしています。全部はできないけれど、制度の隙間をなんとか埋めて、1年間埋め続けることが出来たら行政が認めてくれるでしょう。特例も2つ目には前例になりますから。

通学や通勤で福祉的な手助けがいる。夜も眠れないほど考えてもどうにもならない。そういうことを繰り返す行いことで必ず何かが開けます。そういう存在としてのボランティア・市民活動センターになれたら、コーディネーターも、とてもやりがいがあり、それだけ責任のある仕事にもなると思います。

松原

皆さんのお話を聞いていて、気持ちを新たに頑張っているという思いになりました。ボランティアのみなさんと向き合っていて、計画をたてて物事を進めたいと思います。

三木

コーディネーターとして、何が何でもつなげなければ、という思いとともに、限界を感じることもありました。でも、先生や他の区社協の話を聞いて、まだまだやりきれていなかったという反省もあったので、理論や制度をもっと勉強していこうと思います。

榎本

他区の話聞いて、大阪市内でも区によってぜんぜん違う仕組みがあるんだなと思いました。制度の狭間という話では自分自身も感じる節があって、それは各区同様なんだと共感できました。皆

さんの取り組みを知り、コーディネーターとして、今後どうしていくかを考えるきっかけとなりました。

菱井

つなぎたいけれどつなげられないという悩みは本当に同じだなと思いました。できることは100%のうちの5%、という言葉がとても心に刺さりました。自分自身、覚悟を持って、覚悟を背負うほどの仕事をさせていたでいて、という自負を持って、コーディネーターとしていきたいと思っています。

上野谷

生活とは何か？権利とは何か？ニーズとは何か？ということをもっと学んでいきましよう。

本来の福祉が考えるべき「地域共生」に人間の情をプラスして、暮らしに潤い・豊かさ・楽しみを味わってもらおう、ということがボランティア・市民活動センターの使命で、少し味付けが必要なんです。その味付けは、皆さんの持ち味ですね。

平野区ボランティア・市民活動センター

〒547-0043 平野区平野東2-1-30
HP hirano-kushakyo.or.jp/center_information
TEL 06-6795-2200 FAX 06-6795-2929
利用可能時間 月～金 9時～17時 土 9時～17時30分
休館日 日曜・祝日・年末年始は休館



浪速区ボランティア・市民活動センター

〒556-0011 浪速区難波中3-8-8
HP <https://naniwa-ku-cosw.or.jp/volunteer>
TEL 06-6636-6027 FAX 06-6636-6028
利用可能時間 月～金 9時～17時30分
休館日 日曜・祝日・年末年始は休館



大阪市浪速区社会福祉協議会

東成区ボランティア・市民活動センター

〒537-0013 東成区大今里南3-11-2
HP www.higashinarikushakyo.jp/volunteer
TEL 06-6977-6336 FAX 06-6977-6339
利用可能時間 月～土 9時～17時30分
休館日 日曜・祝日・年末年始は休館



ボランティア活動総合補償制度のご案内

ボランティア活動保険

補償概要	ボランティアの方が日本国内における、ボランティア活動中に、 ①急激かつ偶然な外来の事故によるケガ（傷害補償） ②偶然な事故によって他人の生命や身体を害したり、他人の財物を滅失、破損または汚損した場合に、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害（賠償責任補償）		
加入対象	社会福祉協議会で、把握または登録（届出または委嘱等の手続きを経ており）している社会福祉協議会の活動趣旨に準じたボランティア活動を行うボランティア団体、個人		
保険期間	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
対象活動	①自発的な意思により他人や社会に貢献することを目的とし、日本国内で取り組まれる活動であること ② 所属ボランティア活動団体の会則に則り、企画立案された活動や、社会福祉協議会へ届け出たり、社会福祉協議会の委嘱を受けた活動であること ③ 無償の活動であること（交通費、食事代など費用弁償程度の支給は無償の範囲に含みます）		
年間保険料 （1人）	Aプラン	Bプラン	Cプラン
	300円	500円	600円

非営利・有償活動団体保険

（団体・グループで加入）

補償概要	非営利・有償活動中に、 ①急激かつ偶然な外来の事故によるケガ（傷害補償） ②偶然な事故によって他人の生命や身体を害したり、他人の財物を滅失、破損または汚損した場合に、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害（賠償責任補償）	
加入対象	社会福祉協議会や加入要件を満たした、非営利活動を実施する団体・グループ	
保険期間	毎年4月1日から翌年4月1日まで	
対象活動	①福祉・文化・保健衛生・自然環境などの分野における『営利目的ではない社会貢献活動』であること （例）配食サービス・訪問サービス・手話通訳・環境調査など ②サービス提供先（利用者）から実費（交通費・食事代・材料費）を超える対価を得ていること ③その他、大阪市の社会福祉協議会と保険会社において適当と認められた活動であること	
年間保険料	Aプラン	Bプラン
	加入時期により金額が異なります。 〈Aプラン・Bプラン共通〉 感染症見舞金【オプション】1,870円/人 ※加入時期に関わらず一律	

詳細はパンフレットをご確認ください

大阪市ボランティア・市民活動センターと、各区ボランティア・市民活動センターでご加入いただけます

●お問合せ先

制度運営

大阪市ボランティア・市民活動センター

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター1F

TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618

取扱代理店

各種損害保険・生命保険取扱 株式会社島本保険事務所

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4-1-3 大阪センタービル2階

TEL.06-6252-4519 FAX.06-6245-4686



令和3年度第2回 地域こども支援団体連絡会

学校とこどもの 居場所活動の連携を考える

令和3年6月18日(金)に「地域こども支援団体連絡会」を開催しました。
今回は、北御堂(浄土真宗本願寺派本願寺津村別院)に会場を提供していただき、学校とこどもの居場所活動との連携について考えました。

みんなで学ぶ教室 西場 弥生さん、宇野 響さん、一般社団法人ひとことつむぐ 足立 須香さん、NPO法人 女性と子育て支援グループ・pokkapoka 渡邊 和香さんに活動報告とともに、学校と関わるきっかけについて報告してもらいました。

参加者からは「地域に応援団をうまく作っていくことはとても大事なこと」や「学校の先生が動きやすいような連携の仕方を提案していくことが大切」などの意見がありました。

地域こども支援団体連絡会は、こどもの居場所活動に関わるひとたちの想いや悩みを共有する場として偶数月第3金曜日の午前に開催しています。こどもの居場所について、継続的に安定した活動となるよう、一緒に考えていきましょう!

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて実施しました。



「誰一人取り残さない地域子育てコミュニティ」づくりをめざしています!

地域こども支援ネットワーク事業は、こどもの居場所を社会全体で支える仕組みとなるネットワークづくりをおこない、継続的に安定した活動ができるよう連絡会や研修会、物資提供調整など側面的な支援をおこなっています。その想いに共感していただいた企業・団体から、こども食堂や学習支援等の、こどもの居場所活動団体と利用するこどもたちのために、数多くの物資を提供してもらっています。地域こども支援ネットワーク事業では、物資に限らず多様なご支援を受付けています。大阪市ボランティア・市民活動センターまでお気軽にご相談ください。



地域こども
支援ネットワーク事業の
ホームページは
こちら



問合せ

大阪市ボランティア・市民活動センター P14参照

誰もが生きやすい社会の大切さを ユニークなモノづくりで発信

発達障がいサポート オフィスアンバランス

「オフィスアンバランス」は、発達障がいのある人たちを支援するピアサポートグループです。代表の元村祐子さん（以下、元村さん）は、発達障がい当事者として、発達障がいのこどもを持つ母親として、同じ障がいに苦しむ人やその家族に寄り添い続けています。

また、発達障がいのある人には、自分のことを否定されない、安心できる場所が必要だとの思いから、2013年から現在まで「当事者の会」「親の会」を継続。企業や地域、教育現場などに向けての講演会や、独自のアイデアを生かした取り組みで、発達障がいに対する理解を深めてもらうための活動を行っています。



ヘルプマークと「SOCCA」を一緒に身に付けることで、より伝えやすく

見た目では伝わらない困りごとを『SOCCA』カードで伝えやすく

「38歳で発達障がいだと分かった時、これまで責めてきた自分の

生き方は、努力不足ではなく脳の働き方が原因だったんだ、とほつとする気持ちがありました。それでも、障がいという言葉に抵抗があつて、何とか治したいと必死に勉強しました。そして当事者の会を始めて多くの人と共感しあう中で、どうせなら発達障がいのある生き方を楽しもうと思えるようになったんです。」

そう話す元村さんは、とても陽気で社交的な性格の持ち主です。ピアサポートを通じて、気が付けば周囲に多くの当事者や支

援者が集まるとともに、身体や知的に障がいのある人とのつながりも広がっていきました。

そして4年前、ヘルプマークが大阪でも普及し始めた頃、元村さんは障害のある仲間たちの声を集め、『SOCCA』と名付けたもうひとつのヘルプカードを制作しました。

「私をはじめ多くの障がい者がヘルプマークを身に付けていますが、自分がどんな助けを求めているのか、うまく伝えられないという人が多いんです。発達障がいのある人、義足を使用している人、難聴の人、弱視の人など、その障害ごとに助けてもらいたいことは様々ですし、何に困っているか、どう助けてほしいかを自分から伝えることができれば、周囲の人にも手助け

してもらいやすくなると思ったんです」と、元村さん。

ユーモラスな猫のイラストとともに、『席をゆずってください』『何があった？』文字で教えてほしいです』『（目が見えていません）などのメッセージが示されたカードは10種類。それぞれのカードの裏面には、助けてくれた人に、言葉で言えなくてもお礼の気持ち伝わるよう『ありがとう』の言葉を入れました。また、助ける側が使える『お手伝いします』とメッセージが入ったカードも作りました。

『SOCCA』は障がい者だけではなく、腰痛で辛い時、熱がある時など、



困っていること、助けてほしいことが一目で分かる『SOCCA』カード

誰もがしんどい時に使えます。みんなが周囲で困っている人に気付き、ゆくゆくは、このカードを使わなくてもお互いに助け合えるようになればいいですね」と、元村さんは話します。

発達障がい当事者の意見から生まれた、心地良いノート

さらに元村さんは、生野区で長年ノート製造に携わってきた大栗紙工株式会社（以下、大栗紙工）からの声掛けで、発達障がいのある人が使いやすいノートの開発に参加。

これは、紙からの反射が眩しくて辛い、罫線を意識しすぎてしまうなど、発達障がいのある人が既存のノートに感じている不便に着目することで、どこからお年寄りまで、誰もが心地よく使えるノートを作ろう、と始めた取り組みです。

元村さんは試作品ができる度におよそ100人の発達障がい当事者から意見を聞き取り、紙の色や質、罫線の種類や間隔、印刷インクの色や濃さなど、さまざまな意見を大栗紙工に伝えました。そして数々の試行錯誤の末、多くの当事者がこのノートなら書

けると答えた理想的なノートが完成。2020年に『mahoraノート』という名前で販売がスタートし、多くの人の注目を集めるとともに、『日本文具大賞2021 デザイン部門優秀賞』を受賞しました。

「大栗紙工さんは、発達障がいについてすごく勉強されて、私たちが伝えていないことまでノートに盛り込んでくださいました。感覚過敏など、なかなか理解してもらえない自分たちの辛さに寄り添って、こういう形にしていただけで、本当にありがたいことです。」

元村さんは、自分の障がいについてオープンにすれば、いろんな人が助けてくれるようになり、今回のノート作りのように様々な縁につながっていくと話



発達障がい当事者の声から生まれた『mahoraノート』

します。

「障がいのあるなしに関わらず、一人で生きている人は誰もいません。助けてもらえる人が多ければ多いほど、自立できているということですから。」

お互いがお互いを認め合い、助け合うことのできる社会をめざして。持ち前のバイタリティを生かして、元村さんのチャレンジはこれから続いていきます。

オフィス アンバランス代表
元村 祐子 さん

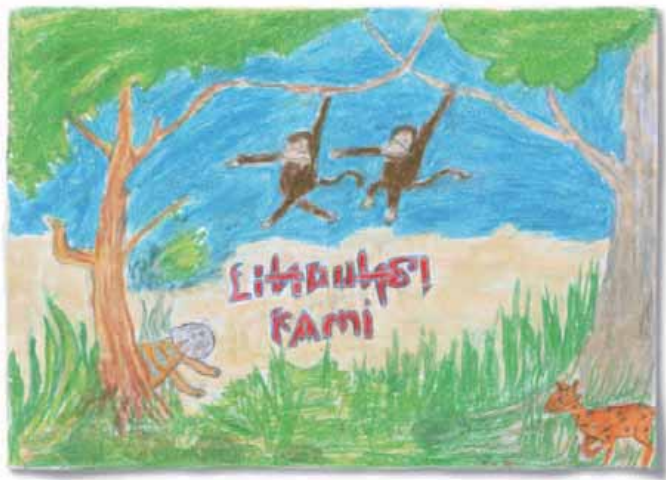


試作と改良を何度も繰り返し、理想のノートへ

- (※1) 同ような立場や境遇、経験などを共にする人同士(ピア)による支え合い
- (※2) 義足や人工関節を使用している人、内部障害や難病の人など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている人が、援助を得やすくなるよう東京都が作成したマーク
- (※3) “そっか、こういう支援を求めているんだ”と気付いてもらえたら、という思いから生まれたネーミング

問合せ Office UnBalance(オフィス アンバランス) info@unbalance.main.jp
mahoraノートについての問合せ 大栗紙工株式会社 oguno@og-shiko.co.jp

森が戻ってきた。
鳥や虫や動物が戻ってきた。
みんなに笑顔が、戻ってきた。



再生プロジェクトを行っているバリヤン地区の小学校の児童から贈られた絵。
「わたしたちを守って!」という動物たちのメッセージをこめて、描いてくれました。

インドネシア熱帯林の再生プロジェクト

きっかけは、私たちが毎日使っている紙の原料となる木材を少しでも地球に返したいという思い。
たくさんの生き物が暮らす森を取り戻すことで
地球温暖化を防ぎ、生物多様性を守ること。
そして、地元の人々の生活を助けること。
地元子どもたちの明るい笑顔を力にして
私たちは これからも、未来を育む活動をつづけていきます。



立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上火災保険株式会社 www.ms-ins.com

「保険会社には、紙を多く使う仕事だから木を地球に返そう」
と始めた運動でした。だけど

そんな単純な話ではなかった。

インドネシア・バリヤンで知ったことは「森林は地元の人たちが、生き残るために仕方なく
木を切っていたという事実」。「植林に加え、果樹も育て果実を農民の新しい収入源にする」
というプロジェクトをはじめよう。人と森・生きものが共に生きる場所を取り戻そう。

「植えた木の本数」「面積」といった数値だけでは本当の意味で熱帯林は再生しません。
地域の人々と手を取り合って考えた時間が、明日の地球環境を再生させる。
三井住友海上は、まだまだ勉強中です。

三井住友海上は、生物多様性の保全活動もすすめています。

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

情報マーケット

Information Market

「参加してみたい!」と思ったり、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接「コンボを見て」とお問い合わせください。



情報マーケット掲載団体に 問合せするのに便利なQRコード

- 1 気になる情報があれば、スマホで
下記QRコードをQRコードリーダー
で読み取る
- 2 掲載団体の情報一覧を
ダウンロード!!
- 3 問合せ先、
団体ホームページなどに
アクセスできます!



④夏のボランティア体験

中央区社会福祉協議会

<http://www.osaka-chuo-syakyo.jp/>

新たな出会いや発見を通して夏の思い出を作りましょう! ちょっと試しにやってみようかな、新しいことに挑戦したい! 等ご興味ある方はご参加ください。

日程 ①8/14(土)13:30~15:30 ②8/21(土)9:30~10:30
※①②のどちらかを選択。定員に空きがある場合は両方参加も可。

場所 ①大阪市中央区社会福祉協議会(中央区上本町西2-5-25)
地下鉄「谷町6丁目」駅3番出口から徒歩5分
②大阪ビジネスパーク読売テレビ前(中央区城見1-3)
地下鉄「大阪ビジネスパーク」駅1番出口から徒歩5分

人数・条件 どなたでも 定員①6人②10人

申込方法 電話・FAX・Eメール 締切:8/6(金)※先着順
(Eメールの場合は名前・住所・電話番号・希望の日程(①もしくは②)をご記入の上、お申込みください。)

問合せ TEL/06-6763-8139 FAX/06-6763-8151

Eメール chuo-tiki-katadow@shakyo-osaka.jp (担当:中原)

①いろんな活動出来ます!

株式会社 笑福

<http://www.warafuku.co.jp/yuraku>

子ども食堂での手伝いから認知症の方との会話など幅広い活動が出来ます。

日程 いつでもOK!(8:30~21:00)

場所 認知症対応型デイサービス 悠楽
(西成区聖天下2-6-1)
南海電鉄・地下鉄「天下茶屋」駅から徒歩10分
阪堺電鉄「天下茶屋北」駅から徒歩3分

人数・条件 どなたでも

申込方法 電話・FAX・Eメール・ホームページ・来所

問合せ 〒557-0012 大阪市西成区聖天下2-6-1

TEL&FAX/06-7501-9174 Eメール kataoka@warafuku.co.jp (担当:片岡)

⑤家庭生活支援員(子育て担当)養成研修会・エンゼルサポーター認定研修会

公益社団法人 大阪市ひとり親家庭福祉連合会

<https://www.hitoren-osaka.org/>

ひとり親家庭の方が一時的に保育が必要となるときに自宅などの預かり支援や産後間もない家庭での家事支援をしてくださるサポーターを募集しています!

日程 【家庭生活支援員(子育て担当)養成研修会】9:15~17:00
土曜コース:10/2(土)~11/6(土) 平日コース:10/7(木)~11/11(木)
【エンゼルサポーター認定研修会】9:15~17:00
土曜:11/13(土) 平日:11/18(木)

場所 大阪市立愛光会館(北区中津1-4-10)
地下鉄「中津」駅5番出口・阪急「中津」駅から徒歩5分

人数・条件 定員各30人 参加費:受講料無料(※保育所実習に伴い一部自己負担があります)
受講要件:研修会最終時点で70歳以下の方。ファミリーサポート提供会員の方は一部受講で登録していただけます。

申込方法 電話・FAX・来所 締切:9/17(金)

問合せ 〒531-0071 大阪市北区中津1-4-10 大阪市立愛光会館

TEL/06-6371-7146 FAX/06-6371-6722 Eメール hah-10@v-aid.org (担当:西田)

②イベントのお手伝いをお願いします

公益財団法人 山本能楽堂

<http://noh-theater.com>

能楽師の解説付き『とくい能』や、上方芸能をダイジェストに紹介する「初心者のための方芸能ナイト」など初心者向け公演の、場内整備・受付などのお手伝いをお願いします。

日程 ボランティアにご登録後、随時メールで連絡(※基本、土・日・祝日)

場所 山本能楽堂
(中央区徳井町1-3-6)
地下鉄「谷町四丁目」駅4番出口から徒歩5分

人数・条件 どなたでも 公演ごとに5人 交通費:上限2,000円

申込方法 Eメール(氏名・住所・電話番号・年齢・性別を記入のうえお送りください)

問合せ TEL/06-6943-9454 FAX/06-6942-5744

Eメール yamamoto@noh-theater.com

⑥2021年度 介護オンブズマン養成講座

介護保険市民オンブズマン機構大阪

<https://o-netnpa.site/>

介護施設で暮らす高齢者の話し相手になりながら、その思いや要望を施設に伝える「橋渡し役」の活動です。介護保険や施設介護についても学びます。※オンライン受講も可

日程 10/2・10/9・10/16・10/23の各土曜日(全4回)
13:00~17:00(※10/23(土)のみ10:30~16:00)

場所 JAM大阪(東成区中道3-2-34)
地下鉄・JR「森之宮」駅から徒歩10分
地下鉄・JR「玉造」駅から徒歩7分

人数・条件 20歳以上 定員:会場参加10人 オンライン参加20人
参加費:12,650円(テキスト代含む)

申込方法 電話・FAX・郵便・HP・来所 締切:9/27(月)

問合せ 〒537-0025 大阪市東成区中道3-2-34 JAM大阪

TEL/06-6975-5211 FAX/06-6975-5223

Eメール o-netnpa@train.ocn.ne.jp (担当:堀川)

③YouTube動画撮影・編集のボランティア募集

淀川区社会福祉協議会

<https://www.yodogawaku-shakyo.com>

淀川区区内での様々なボランティア体験の様子を撮影し、YouTube向けに編集するボランティアを募集します。※詳しくはお問い合わせください

日程 不定期 日時は参加者の都合に合わせて(※但し日中に限る)

場所 淀川区区の高齢者施設、野外など
集合場所:大阪市淀川区社会福祉協議会
(淀川区三国本町2-14-3)
阪急電車「三国」駅から徒歩約8分

人数・条件 動画撮影や編集、YouTubeを使った情報発信に興味がある人

申込方法 電話・FAX・Eメール

問合せ TEL/06-6394-2900 FAX/06-6394-2978

Eメール yodogawa.shakyo@gmail.com (担当:坂口)

⑪「第5回 日本女性学習財団 未来大賞」レポート募集

公益財団法人 日本女性学習財団

https://www.jawe2011.jp/nii_awards/index2021.html

「出発・再出発」をテーマに、男女共同参画社会、多様な人々が生きやすい社会の実現に向けて、次への一歩を踏み出したい／踏み出した人(踏み出す人を支援する人・グループも可)の思いやその過程などをまとめたレポートを募集します。

賞 大賞1篇 奨励金10万円 ※該当作がない場合もあります。
応募資格 趣旨に関心を持つ個人及びグループ(性別・国籍を問わず)

応募規定 5,000～10,000字(見出し・小見出しを含む)
 体裁・A4版用紙(横書)1ページを40字×30行に設定
 ※詳しくはHPを参照ください

応募方法 Eメール(添付ファイル)または郵送(簡易書留)

応募締切 8/31(火)(当日消印有効)

問合せ▶ 公益財団法人 日本女性学習財団 第5回未来大賞係
・提出先 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館5階
 Eメール jawe@nifty.com

⑦令和3年度 同行援護従業者養成研修 受講者募集

一般社団法人 大阪市視覚障害者福祉協会 居宅介護事業部きぼう

<http://www.kibou-web.com/>

視覚障がい者の外出時の支援に関する知識や技術を習得し、同行援護ヘルパーとして当事業所で活動してみませんか? (一般・応用)

日程 一般課程: 10/13(水)・14(木)・15(金) 全3日間
 応用課程: 10/19(火)・20(水)全2日間

※いずれの課程も9:30～18:30(日程により変動あり)

場所 大阪市立社会福祉センター 3階会議室
 (天王寺区東高津町12-10)
 近鉄電車「上本町」駅 近鉄11番出口から徒歩3分

人数・条件 定員各10人(各課程ともに全日受講できる人)
 参加費: 一般課程/20,000円 応用課程/15,000円
 (テキスト代、保険料含む)

申込方法 FAX・Eメール 締切: 8/13(金)

問合せ▶ TEL/06-6765-2777 FAX/06-6765-2999
 Eメール daishikyo-kibou@aioros.ocn.ne.jp (担当: 上田)

⑫第19回 企業フィランソロピー大賞

公益社団法人 日本フィランソロピー協会

<https://www.philanthropy.or.jp/award/>

社会の課題解決のために、自社の経営資源(人材・ノウハウ・技術・情報など)を有機的・持続的に活用した社会貢献活動を顕彰し、広く社会に発信することにより、公正で温もりと活力ある社会を次世代に伝える一助とします。

応募要件 企業が社会課題の解決や社会の健全な発展に寄与する活動
 ●自薦、他薦を問いません ●企業の業態・規模の大小を問いません
 ●各事業所や部門単位でのプロジェクトも応募可能
 ※NPO等、非営利法人の活動は、贈呈対象ではありません。

応募方法 所定の応募用紙をHPよりダウンロード。記入のうえHPのフォームで送信

応募締切 9/1(水)

問合せ▶ TEL/03-5205-7580 FAX/03-5205-7585
 Eメール jpa-info@philanthropy.or.jp (担当: 宮本)

⑧第二回 あったか演劇甲子園大会

NPO法人 あったか演劇研究会

<https://www.attakafamily.com>

各チームが社会の課題をテーマにした寸劇を上演します。観客の皆様が審査員です。未来に向けて夢の持てる社会づくりについて一緒に考えてみませんか?
 ※あったか演劇研究会による演劇もお楽しみに!

日程 8/29(日) 11:30～16:30(終了予定)

場所 フレオ大阪東ホール(城東区鶴野西2-1-21)
 JR「京橋」駅から徒歩8分

人数・条件 定員100人(※要予約、先着順) 参加費: 1,000円(小学生以下無料)

申込方法 電話・FAX・Eメール

問合せ▶ TEL/06-6394-5137 FAX 06-6394-5111
 Eメール mail@attakafamily.com (担当: 市原)

⑨2021年度 特定活動助成(傾聴ボランティア)

公益財団法人 ユニベール財団

<https://www.univers.or.jp/index.php?civilactgrant>

人々の心のケアがますます求められる中、全国で心のケアのための傾聴ボランティア活動をしている団体に助成いたします。

助成対象 心のケアのための傾聴ボランティア活動(自然災害の被災者をはじめコロナ禍で困難な状況にある人等を傾聴)を行っており、次の二つの条件を満たす団体
 ・応募に際して、地元社会福祉協議会の推薦を得ること
 ・団体として既に一年以上の活動実績があること

助成金額 50万円(上限) 最長3年間

応募方法 HPから応募要項・申請用紙をダウンロードし、申請書に必要事項を記入のうえ送付
 ※詳細はHPをご確認ください

応募締切 7/30(金) ※午後5時必着

問合せ▶ 公益財団法人 ユニベール財団
・提出先 〒160-0004 東京都新宿区四谷2-14-8 YPCビル5階
 TEL/03-3350-9002 FAX/03-3350-9008 Eメール info@univers.or.jp

⑩がん患者団体助成

公益財団法人 正力厚生会

<https://shourikikouseikai.or.jp/works/kanja/doc.html>

がん患者やがん患者を支援する団体が主体となって取り組む優れた事業に助成します。相談窓口の開設や小冊子の発行、シンポジウムの開催、インターネットによる情報発信など、企画運営が対象です。

応募資格 がん患者会、がん患者とその家族を支援するグループなど
 ※国内で活躍するグループ(医療機関内の患者会等を含む)で法人格の有無は問わない

助成額 1件(1団体)当たり50万円以下

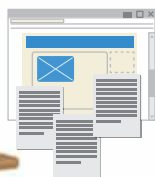
応募方法 ・HPより申請書をダウンロードし、必要事項記載の下、下記書類を添付してメールまたは郵送
 ・役員名簿ならびに会則などに準ずるもの
 ・活動内容が具体的に分かる資料(最近の会報誌などの中核部分 A4版 1～2枚)
 ・サイトの構築や小冊子の印刷など、まとまった支出が予定されている場合の見積書
 ※助成対象事業など詳しいことはHPをご覧ください。

応募締切 10/15(金)必着

資料請求先▶ 公益財団法人 正力厚生会事務局
・送付先 〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1 読売新聞ビル29階
 TEL/03-3216-7122 FAX/03-3216-8676

その他の助成金情報は

大阪市ボランティア・市民活動センターのホームページに掲載しています



<https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/subsidy/>

大切なお知らせ!!

新型コロナウイルスの感染防止のため情報マーケットに掲載の活動やイベントなどを予告なく中止・延期とする場合があります。ご了承ください。



必ず参加前に連絡して確認をお願いします

教えて、おくばっくん! NPOってなあに?

Vol.4



おくばっくん

NPO (Non-Profit Organization)

直訳すると「民間非営利組織」。継続的・自発的に社会の課題解決を行う、使命(ミッション)・目的を持った団体であることが意味づけられています。NPO法にもとづいてNPO法人格を取得した団体が「NPO法人」です。

Q NPO法人の「社員」ってなあに?

A NPO法人には、3人以上の理事と1人以上の監事、10人以上の社員がいることが要件として定められています(理事・監事は社員を兼ねることができます)。「社員を10人も雇えない!」と思われた方、安心してください。

「社員」というと、会社の従業員・職員のことを指すことが多いですが、NPO法人でいう「社員」とは雇用契約を結ぶかどうかは関係なく、「総会の議決権を持ち、法人の運営に参加する会員」のことを指します(多くは正会員と呼ばれます)。

NPO法人の社員は、株式会社でいう株主と同じ立場です。しかし、株式会社の株主では、持ち株数に応じて議決権の数が変わるのに対して、NPO法人の社員

は出資の有無に関わらず、1人1票です。また、日常の意思決定は理事会で進めることができるので、社員は最高議決機関である総会(年1回以上開催)に参加してもらえれば、最低限の運営が成り立つことになります。

そんな中で、NPO法人設立において、社員10人以上の要件が設定されているのは、十人十色と言うように、多様な市民の参加、協力を得ていくことがNPO活動の本旨だからです。社員として名前に加わってもらうだけではなく、ぜひ日ごろから法人の活動に関心を持ってもらい、積極的に参加・協力をしてもらえるように促していきましょう。

次回につづくボラ!



ボランティア活動を 長く続ける

5つのポイント

充実したボランティア活動を、長く続けていくためには次の5つのポイントを参考に、自分にあった活動を探しましょう。

Point 1 興味や関心がある事からはじめよう!

Point 2 活動は余裕をもって、無理をしない!

Point 3 約束やルールは必ず守ろう!

Point 4 相手や関係者の立場を尊重しよう!

Point 5 万が一に備えてボランティア活動保険に入ろう!



おくばっくん

情報求む!

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしております。どしどしお寄せください。

申し込み方法

大阪市ボランティア・市民活動センターHP内の専用フォームから情報をお寄せください。 <https://ws.formzu.net/fgen/S35245908/>

申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
天王寺区東高津町12-10 TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618 (担当:阪井・竹澤)

※募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。
(例:2021年10月15日発行号(2021年11月号)に掲載希望の場合は2021年8月末まで)



おことわり

※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み=掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。



メンバーで制作した「防災ゲーム」で防災の知識と知恵を楽しく啓発。

私は地元の中学校を卒業後、国立明石工業高等専門学校に入学し、在学中に防災士資格を取得しました。その後、同じく資格を取得した有志によつて設立された防災団に加入し、以来7年間にわたつて防災ボランティア活動をしています。

私の地元である大阪市は広大な海抜ゼロメートル地帯が広がり、水害による浸水や水没など大きな災害リスクを抱えています。2018年の台風21号では私の実家も被害を受け、改めて大阪で活動する必要があると感じました。

ちょうどその頃、大阪・関西万博の招致が決定しました。この万博を利用して地域の防災意識を向上さ

せ、大好きな大阪を災害から守れないか。

その目標を達成するため、新たに「大阪防災プロジェクト」を組織し、その共同代表として現在に至ります。

防災ボランティアというと、災害が起きた後に被災地に入り、被災者や被災地の復興を支援する姿を思い浮かべると思いますが、私たちは災害が起こる前に防災講座などで意識啓発をすることに重きを置いています。

これから大阪・関西万博に向けて、大阪が日本の「防災都市」になれるように、そしてその技術や意識が世界へ広がっていくように全力で頑張ります。

災害が起こる前の意識啓発活動で大阪を日本一の防災都市に

これから社会に飛び出していく学生。さまざまな活動や人との交流ができるボランティア活動。興味を持つきっかけや、現在の活動、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなど、若者たちのリアルな声を届けます。



滋賀県立大学大学院
環境科学研究科環境計画学専攻
た だ ひろ あき
多田裕亮(23歳)

プロフィール

所属団体:大阪防災プロジェクト
学 年:1年
趣 味:園芸、アニメーション等

OCVAC(おくばっく) オリジナルエコバッグを プレゼント!!

いつも情報誌COMVOをご愛読いただき誠にありがとうございます。

P14上段の読者アンケートにご協力いただいたみなさまの中から抽選で毎号5人に、大阪市ボランティア・市民活動センター公式マスコットキャラクター『おくばっくん』をプリントしたオリジナルエコバッグをお送りします。

ぜひ、ご意見・ご感想をお聞かせください。※応募は、ハガキ、ファックス、Eメール、またはQRコードからお送りください(P14参照)



小さくたたんで
持ち歩けるよ!



◀縦410mm×横380mm

アンケートにご協力ください！

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見や感想をお聞かせください。抽選で毎月5人に記念品をプレゼントします。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

1. あなたのボランティア活動歴を教えてください。
ア なし イ 1年未満 ウ 1～4年 エ 5～9年 オ 10年以上
2. 活動歴のある人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
3. これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
ア ある イ なし ウ まだ迷っている(その理由も教えてください)
4. 今月号で良かった記事は何ページですか？その理由も教えてください。
5. 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
6. その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXがハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。
※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>

(宛先)

大阪市ボランティア・市民活動センター

「読者アンケート 情報誌COMVO259号係」まで

(住所は下記参照)

※締め切り 2021(令和3)年8月10日(消印有効)

※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。

※お預かりした個人情報、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。



大阪シティ信用金庫 社会貢献活動トピックス

売上の5%を大阪ユニセフ協会に寄付する 「支援自動販売機」を営業店等に設置

当金庫は、大阪ユニセフ協会の活動を支援し、地域社会の持続的発展に貢献するため、自動販売機による飲料の売上の5%を同協会に寄付する「支援自動販売機」を、営業店9カ店および本部(職員専用食堂内)に設置しました。

当金庫は、これまでもウォーキングやバザー、コンサートなどのチャリティイベントに積極的に協賛・参加しており、このたびの「支援自動販売機」の設置で同協会の活動を支援します。

<設置店舗>

西支店	日本橋支店
加島支店	初芝支店
住道支店	上小阪支店
御厨支店	吉田支店
枚岡支店	

店舗のご案内▶



設置された自動販売機

ボランティア・市民活動情報誌 「COMVO」へ広告募集!

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。

大阪のボランティア・市民活動情報が満載!市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

■体裁・発行・部数

B5判 16頁(フルカラー)年10回発行

■広告申し込み締切

発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申してください)

■申込方法

下記まで問合せください

赤字が
本文 1/5 ページ
サイズと同じです



広告料金(税込)

掲載箇所 スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)	
表4 1ページ	234,000円	240×170	
表4 1/2ページ	127,500円	117×170	
本文 1ページ	156,000円	257×182	240×170
本文 1/2ページ	85,000円	117×170	
本文 1/5ページ	38,000円	48×162	

※原稿は原寸大の完全原稿(データ)で入稿ください。

それ以外は別途製版料が必要です。

※掲載ページの指定はできません。

※内容により掲載をお断りする場合があります。

企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

ふれあいネットワーク

大阪市ボランティア・市民活動センター

Osaka City Voluntary Action Center

所在地/〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F

TEL/ 06-6765-4041 FAX/ 06-6765-5618

E-mail/ocvac@osaka-sishakyo.jp <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/>

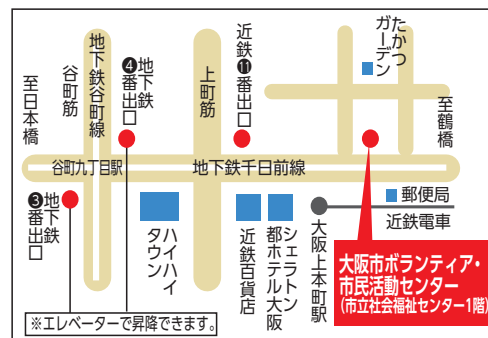
●開館時間:午前9時30分～午後8時30分(月・水・金) 午前9時30分～午後5時(火・木・土)

●休館日:日・祝・国民の休日・年末年始

●発行日:2021年7月15日(8月と1月を除く毎月15日発行)

●発行部数:40,000部 ●制作協力:商工印刷株式会社 ●点訳協力:NPO法人ぽこ・あ・ぽこ

●本誌は大阪府共同募金会の助成をいただいています



「COMVO」主な設置・配布場所 ウェブサイトからもチェック可能! <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/comvo/>

阪神電車(梅田駅・野田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区在宅サービスセンター(区社協)、大阪市役所・区役所、区民センター、クレオ大阪、大阪市内の各区図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟商店街、大阪シティ信用金庫内の店舗など

※OCVAC(大阪市ボランティア・市民活動センター)では、バックナンバーの閲覧、入手も可能です。

Twitter <http://twitter.com/ocvic1998> Facebookページ <https://www.facebook.com/ocvac>

森が戻ってきた。
鳥や虫や動物が戻ってきた。
みんなに笑顔が、戻ってきた。



再生プロジェクトを行っているバリヤン地区の小学校の児童から贈られた絵。
「わたしたちを守って!」という動物たちのメッセージをこめて、描いてくれました。

インドネシア熱帯林の再生プロジェクト

きっかけは、私たちが毎日使っている紙の原料となる木材を少しでも地球に返したいという思い。
たくさんの生き物が暮らす森を取り戻すことで
地球温暖化を防ぎ、生物多様性を守ること。
そして、地元の人々の生活を助けること。
地元子どもたちの明るい笑顔を力にして
私たちはこれからも、未来を育む活動をつづけていきます。



立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上火災保険株式会社 www.ms-ins.com

24区ボランティア・市民活動センター一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

名 称	所 在 地	電話(06)	FAX(06)
北区ボランティア・市民活動センター	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都島区ボランティア・市民活動センター	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福島区ボランティア・市民活動センター	福島区海老江6-2-22 あいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此花区ボランティア・市民活動センター	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中央区ボランティア・市民活動センター	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西区ボランティア・市民活動センター	西区新町4-5-14 にしながほり	6539-8075	6539-8073
港区ボランティア・市民活動センター	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大正区ボランティア・市民活動センター	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区ボランティア・市民活動センター	天王寺区六万休町5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪速区ボランティア・市民活動センター	浪速区難波中3-8-8 浪速区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6028
西淀川区ボランティア・市民活動センター	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀川区ボランティア・市民活動センター	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区ボランティア・市民活動センター	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東成区ボランティア・市民活動センター	東成区大今里南3-11-2 ひがしなり	6977-6336	6977-6339
生野区ボランティア・市民活動センター	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭区ボランティア・市民活動センター	旭区高殿6-16-1 あさひあったかセンター	6957-2200	6957-7282
城東区ボランティア・市民活動センター	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴見区ボランティア・市民活動センター	鶴見区諸口5-浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター	6913-7070	6913-7676
あべのボランティア活動センター	阿倍野区塚家山1-3-8 阿倍野区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
住之江区ボランティア・市民活動センター	住之江区御崎4-6-10 さざなみ	6686-2234	6686-0400
住吉区ボランティア・市民活動センター	住吉区浅香1-8-47 いきいき	6607-8181	6692-8813
東住吉区ボランティア・市民活動センター	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平野区ボランティア・市民活動センター	平野区平野東2-1-30 にここセンター	6795-2200	6795-2929
西成区ボランティア・市民活動センター	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0668